

12月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

議会だより だいせん 67号



2022年2月10日発行
鳥取県大山町議会

<https://www.daisen.jp/gikai/>

給食費無償化の陳情を採択 …… 2～3、6～7
討論会・地域社会をどう守るか …… 26～27
特集・議会だよりどう思う? …… 28～29

笑顔の成人式

の陳情を採択

12月定例会を12月6日から21日までの16日間の会期で開きました。

給食費無償化を求める陳情「子育てと教育の経済的負担軽減を求める要望書」は採決の結果、9対6で採択となりました。(関連6, 7ページ)

そのほか、本年度一般会計補正予算など28議案、請願・陳情3件、議員発議2件などを原案どおり可決しました。

また、副町長の人事案件があり、吉尾啓介氏（御来屋出身）を新副町長として承認しました。



野良猫不妊・去勢手術費補助金

追加の申し込みがあり手術費の助成を行う。(関連9ページ)

8万円



ワクチン追加接種

新型コロナワクチン3回目接種にかかる費用を増額する。(関連9ページ)

2740万円

12月
定例会

給食費無償化

補正予算の 主な事業



さざんか台団地造成事業

団地の隣接地および町有地に宅地の供給を行う。(関連5、10ページ)

605万円



使用済み紙おむつ回収ボックス

保育所において使用済みの紙おむつの回収ボックスを設置する。

68万円



生活想像館北側法面補強工事

7月豪雨災害による北側駐車場法面崩れの復旧工事を行う。

614万円

チエツクします

12月定例会

議案の

質疑

討論

質疑

一般会計補正予算

ICT教育

【門脇議員】名和小学校では、ヘッドセット（マイクが搭載されたヘッドホンやイヤホンのこと）とプリンターの整備予算が組まれているが、他の小学校ではすでに整備されているのか。

【幼児・学校教育課長】名和小学校が、ICTを活用した鳥取授業改革推進事業の実施校として県の指定

を受けたので、必要な備品を購入する。他校での整備はまだしていない。今後、取り組みの状況、成果などを見ながら検討をしていく。

インターネット配信

【近藤議員】大山チャンネルインターネット配信委託料が減額になっているがなぜか。

【総務課長】費用対効果がなかなか認められないので、今年度

は休止し、減額した。委託業者からは自主事業として、大山チャンネルの番組などインターネット配信したいという提案があったので、今後また再開の予定だ。



大山の魅力をYouTubeで配信

お魚センター

【吉原議員】増設中止に関して、コストがかかっても2階の飲食スペースを障がい者も利用しやすいように、エレベーターをつけて計画を進めてはどうか。

【農林水産課長】将来的に新たな施設を、港内に整備して、1階に飲食店を設けることを考えている。



観光客に人気のお魚センター

名和競技場



投てきの囲いを撤去する

〔池田議員〕円盤やハンマー投げの投てき囲いを撤去すること、現在公認制度4種を持つ名和陸上競技場はどうなるのか。

〔社会教育課長〕競技での使用が全くないわけではないが、小中学生の利用を中心に変更している。新しく作られる4種ライトでの認定更新を考えている。

臨時特別給付金

〔大森議員〕家計急変世帯が約300世帯あるとのことだが、漏れなく申請してもらうために周知の方法などは。

〔福祉介護課長〕周知方法については、

ケーブルテレビ・防災無線・ホームページなどを通じて周知する。他にも社協の生活福祉資金の貸付窓口などで、実際の現場での案内を考えている。

マンホールのふた

〔門脇議員〕マンホールのふたは通常壊れるようなものではないと思うが、修繕の理由は。

〔水道課長〕町民の通報や維持管理業からの点検での報告が

あり、ふたと本体との接続が腐食していることがわかった。ガタつきがあり、車両や歩行者の往来時に危険が伴うことが想定されるため、改修・修繕していく。

酸素濃縮器

〔西本議員〕酸素濃縮器の利用目的と増額の理由は。

〔健康対策課長〕呼吸器疾患のある人が、在宅で使用するもの。当初1件を見込んでいたが3件になった。

特別会計補正予算 質疑



新しい宅地造成予定地

中山地区の新規造成地

〔近藤議員〕さざんか台団地に新規用地を造成するにあたり、造成費など事業総額は。

また、平米1万7000円の分譲予定価格はナスパルタウンに比べても高いのではないかと。

〔建設課長〕事業総額は4600万円を予定している。計画面積、総事業費に対して考慮すると平米1万7000円を考えているが、事業費を精査していくなかで価格を検討していきたい。

みなさんからの請願・陳情はこうなりました

●請願

題名	請願者	請願の趣旨	委員会の意見・結果	本会議採決結果
沖縄県戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないことを国に要請することを求める請願	沖縄県那覇市泊 沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表 具志堅 隆松	沖縄の辺野古新基地建設に際して、沖縄戦の戦没者の遺骨などが混入した土砂を埋め立てに使用しないよう、国に要請してほしい。	(総務常任委員会) 沖縄戦に本町出身兵士が参戦した記録があり、彼らの遺骨が存在する可能性がある。人道的見地から使用しないことを求めたい。 一方、本町の公益に直接かかわる事件ではないので、取り上げるべきではないとの意見もあった。 採決の結果、採択3 不採択1で採択すべきものと決した。	採択

●陳情

題名	陳情者	陳情の趣旨	委員会の意見・結果	本会議採決結果
塩津川の改修に関する陳情	鳥取県西伯郡大山町塩津 大山町塩津部落区長 高見 敬治	豪雨時、下流域に繰り返し被害を発生させている塩津川の河川改修をしてほしい。	(経済建設常任委員会) 上流地域の環境（小・中学校や家屋・工場の建築など）が変わり、大雨時、当時なかった水害が発生するようになった。 流下能力を高めるための、河川改修の必要性を現場視察した委員会としても強く感じた。 採決した結果、全会一致で採択すべきものと決した。	採択
少子化対策として子育てと教育の経済的負担軽減を求める要望書	鳥取県西伯郡大山町末長 浅田 沙也香 (他 6名)	少子化対策や大山町の魅力を高めるための施策として、小・中学校の給食費補助額を全額補助としてほしい。 また、少子化対策として、子育てと教育の経済的負担軽減をさらに進めてほしい。	(教育民生常任委員会) 子育て世代の負担軽減については、就学支援制度の周知をはかることで対応出来るという意見や、新年度予算の編成が定まっていない状況では判断できないという意見があった。また、給食費無償化の予算についても、事業単体ではなく、予算編成全体のなかで議論すべきとの意見も出された。 採決の結果、採択2 不採択3で不採択すべきものと決した。	採択
保育所等の最低基準（職員配置・面積基準）と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書の提出を求める陳情書	鳥取県東伯郡湯梨浜町泊 鳥取の保育を考える会 会長 石井 由加利	コロナ禍で保育士の負担も大きくなっているなかで、保育環境の改善や職員の処遇改善を求める意見書を国に対して提出してほしい。	(教育民生常任委員会) 本町において、よりきめ細かい保育サービスの充実のために職員配置などの基準改善の検討は意義のある事である。 採決の結果、採択4 不採択1で採択すべきものと決した。	採択

◎町行政に意見や要望があるときは、どなたでも請願書や陳情書を議会に出すことができます。提出の方法など詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

給食費無償化を求める陳情

採択に賛成多数

学校給食費の無償化を求め、町民1741人の署名を添えて陳情された「少子化対策として子育てと教育の経済的負担軽減を求める要望書」は、12月21日の本会議で、賛成9・反対6で採択されました。

この陳情は、担当する教育民生常任委員会の審査では、賛成2・反対3で不採択とすべきとされていましたが、議員全員による本会議での採決では異なる結果になりました。

陳情が採択されると、法的拘束力はありませんが、議会はその実現に向け最善の努力をしていきます。

賛成意見

大森議員

給食費が全額助成となれば保護者にとって大きな負担軽減となる。教材費や修学旅行費などの助成も含めて、これらの子育て支援政策は少子化対策に一定の効果も期待できる。財源も、ふるさと応援基金から十分捻出できる。

この陳情には、町人口の1割にあたる1741人の賛同者があり、重みがある。

岡田議員

子どもは社会の宝として社会全体で育てて

いくべきだ。本来なら幼児から大学まで、教育費用を国が負担するべきだが、まずは各自治体で支援をして負担を軽減していくことが大切だ。

大原議員

給食費無償化について、教育環境の充実や高齢者福祉の問題と比較して、どれが先かという議論があるが、財源が許す限りどれもやるべきだと考える。

町の将来を考えると、いま少子化に歯止めをかけないと、町が成り立っていかない。

米子に出ていった若い世代を、いかに本町へ戻すかということは、大切な切り口だ。

西本議員

給食費無償化には賛成しかねるが、1700人の住民が汗を流して

集めた声を、この陳情審議の段階でストップする必要はないと考える。

今後、給食費無償化の案が執行部から出てきた際に、他の案と一緒に、テーブルに全部載せた上でしっかり検討すれば良い。

今回は、民意を受け止めるということで、陳情を採択したい。

小谷議員

国の税や社会保障の仕組みが若い世代に不利な仕組みになっている。子育て世代に対しての厚い支援は必要だ。

ただし、今後の予算審議においては、他の事案もふくめて、優先順位をしっかりと検討したうえで賛成か反対かを考えたい。

給食費無償化のよう

にお金を配るよりも、例えば、子どもが安心して学校に通える体制づく

くり、部活動に関すること、放課後の子どもの居場所づくりなどは、各家庭単位では解決しにくい課題であるため、税金の使い道として優先順位は高いと考える。

反対意見

近藤議員

本町では、保育料の無償化や高校生の通学費助成など、子育ての経済的負担軽減については、すでに積極的に取り組まれている。給食費も、半額助成されている。これ以上の軽減策については国の施策として進められるべきものだ。

他にも、出産前後の妊婦ケアの充実、乳幼児の育児支援、学童保育の環境整備、スポ少や部活動など、さまざまな課題があり、予算が確保できないという

大杖議員

将来の本町を支えるような愛情豊かな人格形成のために、教育環境改善のための議論を先にしっかりとすることが必要だ。

野口議員

本町ではもったい로운ものにお金を使わなければならない。教育に関しても、例えば、大山西小の校庭の整備など、まだ投資しなければならぬところもある。これらの課題を先に片づけてからでないと、給食費無償化は賛成できない。

理由で、後回しになっている施策もある。

給食費無償化を必要とする困窮世帯には、就学援助制度がある。もっと本制度の周知をはかり、使いやすい制度にしていくべきだ。

12月定例会

常任委員会の活動

総務 常任委員会

大山町議会では、常任委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な審査を行っています。

ネット配信委託料

Q大山チャンネルのネット配信事業を令和3年度は取りやめた理由は。

A伸びている動画もあるが、視聴回数が伸び悩んだため。今後は、受託者の自主事業として配信は継続される予定だ。

総務課

債権管理

Q債権放棄を議会の議決なく行う理由は。

A個人情報に記載された私債権の放棄議案を上程することは適切ではない。回収見込みのないものは町長の権限で債権放棄できるようにし、業務の効率化をはかる。

税務課

地域交通

Qデマンドバス利用が減っているが。

Aデマンドバスは各集落でバス停が決まっている。バス停の見直しは常に行っている。

企画課

劣化したマンホールの説明を受ける



御崎処理区・金屋東農業集落排水

12月8日、10日、13日の3日間、所管する各課から令和3年度一般会計補正予算ほか事業の説明を受け、審査した。

12月13日には中山第2配水池や金屋東マンホールの現地視察を行い、マンホールポンプ親子ぶた修繕箇所の現状を確認した。

ふるさと納税

Q寄付金の現状は。

A7つのインターネットサイトで募集している。令和元年度、2年度と増加しているが不安定な財源である。今後は4億5000万円をめざして行きたい。

企画課

消防施設費



勢いよく出初式

Q令和4年度以降の補助率は。

A3/4補助は令和3年度で終わりとなる。令和4年度からは補助率は1/2に戻る。

総務課

教育民生 常任委員会

野良猫不妊去勢手術

Q野良猫の捕獲などの方法について地域との連携状況は。

A町報などで周知をしている。また、捕獲機の貸し出しも無料で行なっているので相談してほしい。

住民課

介護給付費

Q居宅介護サービス給付費について増額の背景は。

A令和3年度介護報酬改定により単価増などが要因となっている。また、訪問看護の利用回数が増加している。

福祉介護課

学校事務の効率化

Q共同学校事務室設置の目的は。

A令和4年度から県下で実施される。学校の事務作業をより円滑に行うことを目的として、設置される事務室である。

幼児・学校教育課

水はけの悪いグラウンドを視察



大山西小学校のグラウンド

12月8日から10日、13日、14日の5日間、所管する各課から令和3年度一般会計補正予算ほか事業の説明を受け審査した。

14日には大山西小学校のクラス見学と、学校運営についての意見交換や排水対策など改修が課題となるグラウンドの現状確認、また、駐車場管理体制が新たになる中高ふれあいセンターなどの視察を行い、今後の対応について確認をした。

遊具の管理

Q名和トレーニングセンターのアスレチック（遊具）の今後の管理は。

A設置当時とは安全基準が変わっており、個々の遊具の状態も見つつ、更新などについては今後検討する。

社会教育課

新型コロナワクチン

Q追加接種（3回目）の今後のスケジュールは。

A医療従事者などから順次接種券の発送をし、高齢者（65歳以上）は、2月8日から集団接種を行う予定となっている。

健康対策課

子育てサポート

Qペアレントサポートプログラムの実施状況は。

A3歳から未就学までの子どもを育てる保護者が対象である。開始後3年間で、延べ138人が講座に参加した。

こども課

経済建設 常任委員会

宅地造成

◎さざんか台団地宅地造成事業の概要は。

▲団地の隣接地および町有地に11区画程度供給する。令和3年度に用地買収し、4年度に第1期として5区画を造成し、販売予定である。

建設課

スキー誘客事業

◎町民対象のスキー誘客事業の概要は。

▲18歳以上を対象に、スキー場リフト券の購入補助を行い、だいせんホワイトリゾートへの誘客をはかる。初回は半額、2回目は無料とする2段階の補助を行う。

観光課

非農地の推移

◎町内の非農地が増加した理由は何か。

▲航空写真を分析して、農地パトロールを強化した結果、山間地を中心に増加した。

農業委員会

大雨でたびたび増水する河川を視察



塩津集落付近の塩津川

12月8日、9日、10日、13日の4日間、所管する各課から令和3年度補正予算ほか事業説明を受け審査した。

12月10日には、中山第2配水池新設工事現場で説明を受けた。また、塩津川の災害現場で現状と課題を聞いた。塩津川の改修の必要性を理解した。

RMI 工法

◎新しい改修方法の概要は。

▲下水道やマンホールなどの管理・改修工事で、発生する硫化水素に強い材料で行う新工法である。工期の短縮や事業費の軽減を見込んでいる。

水道課

お魚センター改修

◎計画の見直しの概要は。

▲コロナ対策と製造室整備のため25㎡増築の予定だったが、法律上エレベーターの設置が必要となり断念した。今後は1階処理室を給食への食材供給や切り身加工ができるよう改修する。

農林水産課

フォーラムなかやま

◎遊具改修の概要は。

▲ユニバーサルデザインに配慮し、住民の意見を聞きながら車椅子など身障者の利用も見越した遊具の設置予定となっている。

地籍調査課

13人が町長・教育長に
一般質問を行いました。

あなたの声を町政に

◆一般質問とは

議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

お持ちのスマホやタブレットから、QRコードを読み込むと、各議員の質問をYouTube動画でご視聴いただけます。

ページ	質問事項	質問議員
12	1. 特定空き家対策は 2. 学校給食における食物アレルギーは	杉谷 洋一
13	1. どう活かしているか、日本遺産指定「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」 2. SDGs持続可能な町づくりには	大杖 正彦
14	1. 人口減少の影響などについて 2. アフターコロナの観光振興について	門脇 輝明
15	1. 農産物加工場の活用は 2. デマンドバスに使われていた車の活用は	池田 幸恵
16	1. 地域公共交通の改善は 2. 大山町の公共施設再配置計画を問う	吉原 美智恵
17	1. 保育所での愛着形成について 2. 漁業振興について 3. 駅舎と観光について	近藤 大介
18	1. 基幹システムとDX推進について 2. Uターンターンについて	豊 哲也
19	1. 部活動の今後のあり方は 2. 子どもたちの放課後の居場所は	小谷 英介
20	1. 子育て支援策（学校給食費の無償化）の推進を 2. 特別障害者手当の制度周知を	大森 正治
21	1. 少子化対策について 2. 農業後継者対策について 3. 河川の保全について	大原 広巳
22	1. 人口減少が止まらない 施策の見直しは 2. 子どもの権利を守るために	岡田 聡
23	1. サザエ・アワビの産地としての自覚はあるか 2. 町長が目指すところ	西本 憲人
24	1. アフターコロナを見据えた、本町における持続可能な発展と将来ビジョンについて	森本 貴之

一般質問席

議事録は、議会事務局
や議会ホームページで
閲覧できます。



杉谷 洋一 議員



動画はこちらから

特定空き家対策は

町長

空き家対策協議会で対応する



心配な家屋

【杉谷】 風や積雪などにより、瓦の飛散や建物の倒壊など、保安上危険な物件が長期間放置されている。
生活環境が悪化し、集落で問題化しているが、特定空き家の実態把握は。

【町長】 現在11件を認定している。

【杉谷】 集落から要望の危険家屋の対応および行政代行執行は。

【町長】 空き家対策協議会で3カ月ごとに協議し、認定されなかった物件などの結果は集落に報告している。最終的には行政代行執行の

手続きとなるが、代執行命令の手前段階の物件もある。

【杉谷】 周辺住民の危険や被害が発生した時の建物や樹木の対応は。

【町長】 集落代表などの問い合わせで対応している。建物や樹木もその土地に起因するので空き家の所有者が責任を負うことになっている。

【杉谷】 住民の生活に危険な物件に対し、集落などで樹木の伐採や撤去などを行ったときの補助金は。
【町長】 検討している。

学校給食における食物アレルギーは

教育長

緊急時対応の体制を整えている

緊急時対応の体制を整えている

【杉谷】 給食は、重要な教育の場であるが、アレルギー疾患を持っている児童生徒の把握および給食時間の対応は。

【教育長】 就学時健康診断票や保健調査票などで把握している。

現在38人で増加傾向にあり、対象の児童生徒は別メニューで対応している。

【杉谷】 原因になる食材料別の分析や対策は。

【教育長】 医師の診断にもとづき、原因食材の除去や代替えにより、個々に対応したアレルギー食を提供している。



心を育む楽しい給食

【杉谷】 保護者と学校との連携は。

【教育長】 学校生活管理票などにより、保護者と養護教諭・栄養教諭・栄養職員が面談し、緊急時対応ができる体制を整えている。

【杉谷】 生命に危険

なアナフィラキシーショックの事例とエピペン（注射薬）の対応は。

【教育長】 過去5年間で重大事案が2件ある。エピペンを学校で保管し定期的に職員研修をしながら緊急時対応に備えている。



大杖 正彦 議員

日本遺産の観光成果は



動画はこちらから

町長

情報が全国に発信された

【町長】日本遺産を活用した取り組みを継続するための財政支援は十分か。

【町長】日本遺産を活用した地域活性化ビジョンと情報発信を行い、日本遺産と関連したイベントを行った。今後も誘客をはかるために、必要に応じて

【大杖】「地蔵信仰が育んだ大山牛馬市」は観光業を基幹産業としている本町にとって、何十年先まで重要な要素である。

【町長】日本遺産を活用した大山の観光振興をこれからもはかる。

【町長】日本遺産を活用した大山の観光振興をこれからもはかる。観光関連産業は、経済波及効果が高い産業であり、今後とも、観光関連産業の発展を促進しながら、町内経済が活性化するように努めたい。



日本遺産は大山観光の柱

補助金など予算づけを行っていく。

【大杖】日本遺産を含めた観光振興を生かした本町の未来をどう考えるか。

本町が取り組むSDGsは

町長

町民に取り組み意識を啓発

【大杖】SDGsという言葉は世界・日本そして私たちが暮らす地方でも欠かせないキーワードである。

【町長】日常生活における、一人一人の行動変容が重要であり、町民に対する啓発を行いたいと考えている。

【大杖】自然に恵まれた本町では、自然循環原理の炭素固定(CO₂吸収)に貢献する取り組みが求められる。他自治体の成功事

例を参考に、海藻の農業用肥料活用推進や、コーヒー抽出力活用で牛舎環境改善などからないか。

【町長】どれもSDGsの考え方に通じており、実践されれば本町にとっても非常に効果

が高いと思う。関係する事業者や民間の団体で取り組むところが一番大きいポイントと思うので、このような取り組みには、しっかりと支援をしていきたい。



子孫に残したい美しい自然



門脇 輝明 議員



動画はこちらから

人口減少による 農業への影響は

農業基盤の維持管理が 懸念される

町長



地域に広がる豊かな農地（高麗地区）

〔門脇〕この10年で役場の文書配布世帯数が10%以上減少した集落が全集落のおよそ4分の1ある。

農業への影響は。

〔町長〕集落において、農業の担い手が減少することで農業基盤の維持管理が難しくなることが懸念される。

〔門脇〕人・農地プラン実質化の取り組みなどを各集落で話し合ってもらい、課題解決に向け支援をしていきたい。

〔門脇〕この10年で役場の文書配布世帯数が10%以上減少した集落が全集落のおよそ4分の1ある。

〔町長〕59集落で実質化に向けた工程表が生まれ、うち20集落は図面作成中、既に実質化済みは6集落だ。

〔門脇〕話し合いに向けた本町の支援は。

〔町長〕集落の求めに応じて、農林水産課が相談に乗っていきたい。

〔門脇〕59集落で実質化に向けた工程表が生まれ、うち20集落は図面作成中、既に実質化済みは6集落だ。

〔町長〕話し合いに向けた本町の支援は。

〔門脇〕集落の求めに応じて、農林水産課が相談に乗っていきたい。

スキー場維持のための てこ入れは

町長

事業者と連携して

改善をはかる

〔門脇〕スキー場維持のために、人工降雪機

などを高性能なものに改修するなど、大規模なてこ入れが必要ではないか。

〔町長〕地球温暖化の影響により、人工降雪機を稼働できる日が減少傾向にある。気温に關係なく、造雪ができる人工造雪機もあるが、年間ランニングコストが多額となる。

〔門脇〕大規模なてこ入れは難しいということだが、スキー場をどの程度維持できる見込

はない。



人工降雪機で雪量の安定を

みか。

〔町長〕初期投資などであれば支援できるかもしれない。ランニングコストを永遠に出し続けるのは不可能だと思ふ。

事業者が、採算に合

わないと判断をされれば、そこまでかと思つた。

今後、継続してスキー場運営ができるよう、引き続き事業者と連携をしながら、環境改善をはかっていきたい。



動画はこちらから

販売目的の 加工品作りの場を

町長 検討を進めている



池田 幸恵 議員



HACCP(ハサップ)とは

製品の危険物質の混入に対し、作業過程を整理・分析・管理することでそのリスクを減らす手法。

生産物の衛生水準を守るために必要な工程管理。

〔池田〕名和農業者ト
レセンと逢坂農産物加
工場の利用手法に違い
があるが。
〔町長〕名和は自家消
費施設、逢坂は販売目
的施設として作られた
ためだ。
〔池田〕食品営業許可
制度による各種営業許
可は施設が取るもので
ハサップ対応は利用者
が対応するものである。
また、営業許可制度
も大きく変わり、タレ・
ソース・ジャムなどが
密封包装食品業の1つ

になり取りやすくなっ
た。
名和加工場で営業許
可を再取得しないか。
〔町長〕名和加工場の
施設目的が元々販売目
的でない。
〔池田〕本町の総合計
画にも町産品を加工品
として活用していきたく
いと記されている。許
可がなければ作る場所
がない。
町民が挑戦できる場
所が必要ではないか。
〔町長〕担当課に指示
し検討を進めている。

電気自動車の活用は

町長

売却に向け手続き中である

〔池田〕本庁舎の裏に
デマンドバスとして利
用されていた電気自動
車が駐車されたままで
ある。
公用車としての活用
は。
〔町長〕満充電で走行
可能距離20km程度と、
バッテリー能力の問題
などで活用が難しい。
現在売却に向け手続
き中である。
〔池田〕再利用などの
考えはなかったのか。
〔町長〕有効活用も考
えたが、劣化がひどく
断念した。部品取り用
などでの販売を想定し
ている。

〔池田〕一般質問通告
後、防災無線で売却案
内があった。防災無線
だけでは、公平に内容
が伝わりにくい。
SNSや町報などを
活用し、業者向け、3
台一括売却など正確に

伝えるべきではないか。
〔町長〕今回は急いで
いたこともあり防災無
線での案内となった。
今後は、わかりやす
い発信につとめたい。



売却を待つスマイル号



吉原 美智恵 議員



動画はこちらから

地域公共交通の改善は

町長

有効な公共交通体制を 検討する



さらに使いやすくしてほしい

〔吉原〕本町は暮らしやすいまちをめざし、運転免許がなくても移動に困らない対策として、デマンドバスが行われている。利用者の利便性向上への取り組みは。

〔町長〕バスの乗降場所は、集落と協議して変更できる。

将来、制度を集約して有効な公共交通体制を検討する。

〔吉原〕持続可能なまちづくりの観点から重要な課題であり、料金

が高いことや、町民にとって使いづらい交通手段であり、早急な改善が必要だ。

〔町長〕住み慣れた地域で暮らすために、移動手段の確保は重要であり、免許返納者にシニアカー購入補助制度を創設している。

〔吉原〕今、公共交通に関しての法律も変わり、地方が主体的に取り組むことになった。

公的資金投入も視野に入れ、改善すべきだ。〔町長〕検討を進める。

大山町公共施設 再配置計画を問う

町長

計画は妥当である

〔吉原〕この度、公共施設再配置計画が定められたが、町民一人当たりの延べ床面積は全国平均の3・25倍である。

削減目標が30年間で20%と言う数字は妥当であるか。

〔町長〕3町合併によるもので、全国平均を目標値とすれば約7割削減する必要がある。適切な住民サービスが困難になる。

本計画では、施設の長寿命化や、維持管理コストの縮減などを実施していくことで、20%は妥当であると考えている。

〔吉原〕公民館や体育



一部解体が決まった小学校

館などの生涯学習系施設は、築30年経過している。次の第二次計画に向けて、方針を立て、住民理解を得ていく必要があると思う。

財政状況など、説明を尽くして、住民もと

もに考えていくことが大切ではないか。

〔町長〕町民の生活水準を守るため、施設利便性や利用率が高い施設は、今後も維持していく。



近藤 大介 議員



動画はこちらから

保育所での愛着形成は

教育長

サインを敏感に感じ取り 応答する

【近藤】0歳や1歳からの保育所入所が一般的になってきており、保育の質の向上が一層重要になっている。保育所での愛着形成の現状と課題は。

【教育長】愛着形成とは、親など特定の人に、あるがままを受け入れてもらい、自分が愛されている、大切にされているという安心感を与えることであり、保育所での愛着者は保育士である。

子どもとの安定した愛着関係は、子どもからのサインを敏感に感じ取り、タイミングを逃さずに応答することで成立する。保育士には子どもの内面を理解する力が求められる。保育士が保護者と信頼関係を築き、保護者が安心感を与えることで、保護者と子どものよりよい愛着形成につながると思う。



若手漁業者の多い御来屋漁港

御来屋漁港の整備は

町長

計画的に順次 取り組んでいる

【近藤】水産業振興には漁港の整備が欠かせない。

御来屋漁港の計画的整備についての取り組みは。

【町長】令和4年度までの長期計画で、西防波堤改修、物揚げ場改修、東防波堤改修と順

次取り組んでいる。

漁協からは東防波堤越波対策、御来屋漁港団地側の護岸浸食対策、東物揚げ場改修などの要望があり、次期長期計画に反映し、早期に着手できるように進めたい。

大山口駅に 観光案内看板を

町長

必要性など検討したい

【近藤】大山口駅に観光案内看板を設置する考えは。他の駅舎でも、観光情報の提供をすべきである。

【町長】旅先での観光案内は、電子機器ですぐに調べられるようになった。大きな観光案内板を作るのではなく、駅舎内に掲示できるものなど、代わる手段を検討したい。

【近藤】門脇家住宅や唐王神社など、大山口駅から徒歩で行ける観光スポットもあり、案内看板は必要では。【町長】必要性など検討はしてみたい。



せめて観光案内板くらい



豊 哲也 議員



動画はこちらから

町独自のDXの長期展望は

町長

本町でも進めていきたい



もっとデジタルの活用を

【豊】令和7年度まで国が主導でシステムを標準化するガバメントクラウドの導入が予定されているが、展望は。【町長】仕様書などが順次国から示されており、国や県から情報収集を進めている。【豊】コンビニなどでの住民サービスが遅れている面があるが今後の計画は。【町長】過去に検討した時はコスト高であったが、技術が進んで安くなってきているので検討していきたい。

【豊】システムの更新料に約3000万円がかかっているが、今後も同様にかかるのか。【町長】国の制度変更などに合わせて改修しているものもあり単町の負担では大幅に伸びていくとはない。【豊】DX（デジタルトランスフォーメーション）技術による変革（の長期展望で夢のある具体的な施策は。【町長】DXに向けて意見交換しながら進めている。町民に必要な事業があれば、本町でも進めていきたい。

空き家情報の地域との連携は

町長

コロナ禍で大きく進展していない

【豊】所信表明でもあったUターン施策は。【町長】Uターンに特化したということではなくUターンでもUターンでも広く進めていきたい。【豊】空き家情報を各自治会・地域自主組織と連携し、収集する取り組みは進んでいるか。



空き家の利活用で人口増を

【町長】コロナ禍で大きく進展はしていない。機会があるごとに「奨励金があります」「空き家情報があれば教えてください」ということは伝えるようにしている。【豊】危険家屋の減少や優良な空き家物件発

掘のため、空き家になる前の所有者に向けて町報で働きかけたと思うのがその成果は。【町長】手応えを感じている。今後も啓発活動に取り組み。

【豊】不動産業者・リフォーム業者と連携すること、成功している事例が全国にあり、本町でも検討することだったが進捗よくは。【町長】情報収集を行っている。



動画はこちらから

部活動の今後のあり方は

生徒のニーズを聞いて 検討したい

教育長

小谷 英介 議員

【小谷】子どもたちの部活動の選択肢をどう確保するか。中山中、名和中は団体種目の部活動が成立しづらい状況にある。部活動の合同チーム化や、地域スポーツの受け皿づくりを進めるべきでは。

【町長】国でも抜本的な見直しが議論されている。本町でも、スポーツなどの団体と連携を進めていく。
【教育長】休日の部活動の地域への移行から、段階的に進めていきたい。一方で、部活動の合同チーム化は、大会規定の縛りで、恒常的にはむずかしい。
【小谷】大会規定に従うのは大人の都合だ。子どものニーズにあわせて、県へ働きかけてほしい。



子どもの部活動のニーズは

【小谷】多くの集落では、子どもが少なく、放課後に近所の子どもたちと遊ぶことができない。自宅でテレビやゲームをして過ごすことが多くなる。放課後に、全ての子どもを対象とした、学習や体験交流活動の実施などを検討できないか。

【町長】放課後児童クラブを、単なる預かりではなく、民間事業者と連携し、教育の機会として活用できないか検討している。

【小谷】民間事業者との連携の内容は。
【町長】業務委託の形も視野に、具体的な内容を検討している。
【小谷】9月に報告を受けてから進ちよくしていない。地域おこし協力隊などの外部人材を積極的に活用して、検討のスピードを早めてほしい。
【町長】内部の検討が全く進んでいない訳ではない。進ちよくを見守ってほしい。

子どもたちの放課後の 居場所は

町長

民間事業者との連携を 検討する

検討する



施設の老朽化も進む



大森 正治 議員



動画はこちらから

学校給食費 無償化の推進を

議会の議論の経過をみて 対応したい

町長



給食は教育の一環

【大森】本町が実施している子育て支援策の特徴的なものは。

【町長】保育所の待機児童ゼロや完全給食、学校給食費の半額助成、高校生通学費の半額補助などである。

【大森】今後の学校教育の子育て支援策は。

【町長】教材などの購入費や修学旅行費の補助など、パッケージ的に公教育に係る部分の費用負担を減らしたい。

【大森】学校給食の役割や意義は。

【教育長】体力づくり、人間関係づくり、食育という教育効果がある。給食の無償化は必要である。

【大森】給食費無償化の意義は。

【町長】経済的負担軽減による出生率の改善、移住定住の促進などである。

【大森】財源の保障は。

【町長】ふるさと納税を基本とし、毎年度収支のなかで可能である。

【大森】町民からの陳情も出た。今後は。

【町長】民意に応えられるよう議会の議論の経過をみて対応したい。

特別障害者手当の 制度周知を

漏れがないよう

周知に努める

町長



在宅介護で受給できる場合も

【大森】福祉手当の一つ「特別障害者手当」の制度を知らない該当者が多いようだ。申請が必要だからである。本町の受給の現状は。

【町長】令和3年度10月現在で13件である。

【大森】受給するにはどんな要件があるか。

【町長】20歳以上で、重度の障がいがあり、日常生活で常に特別の介護を必要とする在宅の障がい者である。

【大森】要件について具体的に詳細な説明を。

【町長】両目で視力が0.04以下の視覚障がい者、両耳の聴力が100デシベル以上の聴覚障がい者、関節に障がいがあつてボタンを留めるのに1分以上かかるなどである。要介護4以上で受給できる場合もある。

【大森】月額約2万7000円が支給される。制度の周知をどうする。

【町長】可能性のある要介護者にケアマネから案内するなど、漏れがないよう努める。



大原 広巳 議員

増改築にも助成を



動画はこちらから

町長 検討してみる

【大原】本年度の出生数の見込みは、令和2年度は70人だったが、【町長】69人の見込み。【大原】3世代同居世帯の割合は、【町長】令和2年度で、全世帯数5225の内901で、17.2%となっている。

【大原】集落の3世代同居を増やすために、住宅の増改築の費用助成はできないか。

【町長】子どもが町外からUターンし、実家の敷地内へ新築した場合などは助成対象となっているが、増改築には出していない。

今後は検討してみたい。

【大原】核家族で共働きの子育て世帯が多いが、延長保育や日曜保育はできないか。

【教育長】平成31年1月のアンケートでは、「月に1〜2回は利用したい」が23.6%だった。実施は考えていない。

集落や農業の 担い手対策を



高収益作物の推進を

町長

相談に応じていく

【大原】高齢化が進む中で担い手不足が進んでいる。相談会を増やせないか。

【町長】コロナ禍の中で大変だが状況に応じて各集落にかけ、相談に応じていく。広域の相談会も検討していきたい。

【大原】スキマ時間事業の現状と課題は。

【町長】現在農業や宿泊事業所など9件、働き手側37人が登録。マッチング実績は60件あった。

今後は、登録数や交流を増やし、労働力不足の解消に努める。

河川整備の今後は

町長 県に要望していく



防災と生態系の両立を

【大原】阿弥陀川など河川敷が拡大し樹木が多くなっている対策の予定は。

【町長】令和2年度から4年度にかけ、人家や農地などの保全対象が存在する河川で、計画的に樹木伐採や河道掘削をしている。

【大原】魚道や堰堤などの整備の予定は。

【町長】県管理河川では、防災の観点から治水対策が優先され実施してきたが、一部では生態系保全の事業も行っている。

今後は必要性を整理のうえ、県に要望する。



岡田 聰 議員



動画はこちらから

人口減少が止まらないが

新たな政策など さらに充実する

町長



子育てに最適な大山町

〔岡田〕人口減少が止まらない。2020年の国勢調査で、県内中西部11市町村（日野郡3町除く）の中で、本町は6・8%と一番高い減少率であるが要因は。

また、政策見直しは。

〔町長〕若年層の転出が多いと考えている。子育て支援や教育の

充実などの政策効果は短期間では出ないと考えている。新たな政策も含めさらに充実させていく。

〔岡田〕農業や商工業など全ての後継者確保の一助のため、親元が

ら2〜3キロ以内に住居を確保（借家も含め）する場合は助成拡充はどうか。

〔町長〕近住を促進し、若者の流失を減らすような施策を検討したい。

〔岡田〕雇用の場所確保が重要だが。

〔町長〕サテライト拠点としてのシェアハウスの整備や、図書館機能の強化などで、町民が能力や資格を向上させさまざまな仕事の選択肢を増やす。それが雇用の拡大につながる。そういう絵を描きたい。

子どもの貧困対策は

教育長

将来を生き抜く力を つけさせる

〔岡田〕近年子どもを取り巻く状況が悪化している。子どもの権利条約や児童憲章、子ども子育て支援計画のつとり、全ての子どもたちの健やかな成長と幸せを守るために、その生活は保障されなければならぬ。ヤングケアラー問題の支援策の充実はどうか。

〔町長〕要保護児童対策連絡協議会を中核として、教育機関、福祉、介護、医療、地域関係者が連携して支援できる仕組みを構築していく。

〔岡田〕子どもの貧困問題の支援策の充実は。

〔教育長〕本町の関係



貧困から子どもを守る（写真はイメージ）

機関と毎月実務者会議を行い、情報共有し対策を講じている。教育分野で最も大切な支援は、子ども自身に将来を生き抜く力を、幸せに生きる力をつけさせることである。

〔町長〕大山町子ども子育て支援事業計画のとおり、教育支援、生活支援、経済的支援のさらなる充実をはかっていく。



動画はこちらから

アワビ・サザエの産地の自覚は

町長 県内一の産地と認識している

西本 憲人 議員



県内一の漁獲量の海産物

【西本】本町は岩場も多く、海藻が生え貝類・魚類が豊富な資源豊かな海がある。その中でもサザエ・アワビの産地として自覚があるか。

【町長】県内の漁獲量の約半分を占めており、いずれも県内一の産地として、稚貝の放流事業の支援をしている。

【西本】鳥取県より島根県のアワビの魚価が高いのはなぜか。

【町長】漁協がそれぞれ特色を活かしてブランド化を進めている結

果だと考えている。

【西本】町内の宿泊施設での活用も少ないことに、町としての後押しはしないか。

【町長】経済合理性によるものだと思う。物流が課題なら、町内第3セクターを活用していきたい。

【西本】町としてのPRが不足しているように感じるが、定例記者会見などで、産品のかぶりものをするのもいいのでは。

【町長】議場の全員でかぶったらPR効果が高いと思っている。

日本一・県内初の事業を

行う理由は

町長 町民に必要な事業で

たまたまである

町長

【西本】給食費無償化・PFI・電動マウンテンバイクなどの事業説明の不足はなぜか。

【町長】説明はしているが、不足の点があれば聞いていただきたい。

【西本】なぜ、人口社会増・合計特殊出生率増をめざすのか。

【町長】国の方針に沿って総合戦略の目標値となっているためだ。

【西本】合計特殊出生率と子どもの数は相関がないのだが、現時点でどの世代が本町から出て行っているのか、把握はしているか。

【町長】20から34歳ま

での女性で1年間で62人減っている。

【西本】日本一・県内初の施策はたまたまと言うが、本町にスポットがあたる機会を意図的につくることとしては評価する。

論理的なだけではなく、人間力をもって向き合っていくべきだと思う。

【町長】あくまでも言論の場として、人間味を出す場は、議会以外にもあると思う。



電動自転車の活用は進むのか

営業企画室の 今後の動きは

必要なハード整備の 検討を進める

町長



動画はこちらから



森本 貴之 議員



多様な働き方に対応する共同オフィス

【森本】二ニューノーマルの時代に即した雇用を生み出すことが重要ではないか。

営業企画室の取り組みと、今後の動きは。

【町長】企業誘致を進めるためのネットワークづくりをしている。

今後は、企業誘致に必要なハード整備の検討を進める。

【森本】大山町奨学金返還支援補助金の、対象となる就職先業種の追加を考えないか。

【町長】町内の需要によって検討が必要だ。

【森本】今後のICT教育や地域とともにある学校づくりにおいて、展望や課題は。

【教育長】タブレットの持ち帰り学習や、コロナにより長期自宅待機となった場合の学習保障を検討していく。

学校づくりにおいては、抱える課題を地域とともに解決する姿を期待している。

課題は、教員が多忙になっていることだ。近年の働き方改革に逆行しないよう気を付けなければならない。

政治倫理審査会からの報告

大山町議会議員政治倫理条例とは

町議会議員がその地位による影響力を不正に行使して、自己の利益をはかることがないように必要な措置を定めた条例です。

政治倫理基準に反する疑いがあるとき、有権者は10人以上、議員であれば2人以上の連署で議長に調査を請求できます。



町民の信頼に応えるために

町民25人の連署で提出された大山町議会議員政治倫理条例にもとづく調査請求書への報告は以下のとおりです（9月3日請求、11月12日報告）。

1. 調査請求の対象となった議員

大山町議会議員 小谷英介

2. 調査請求の対象となった疑義の内容

当該議員は、6月定例会中の教育民生常任委員会で、給食費の無償化に関する質疑の際、「(転入者を) 値段でつる、安さでつるって、これやっぱり転入者の質にも関わってくる問題」などと発言した。

3. 調査結果

当該発言は、特定の個人・団体の人権を侵害するような発言ではないので、倫理条例の規定には抵触しないという結論に達した。

4. 付帯意見

当該議員は、誤解を受けるような発言が今後ないよう十分に注意されたい。

10月 臨時会 11月

一般会計補正予算

自動車購入

〔門脇議員〕尿素フリーを仕様書に入れたことが入札辞退の要因になってないか。

〔副町長〕影響したことは否定できない。

〔岡田議員〕なぜ荷台を鉄板補強するのか。

〔水道課長〕約700kgの発電機を乗せるためである。

〔門脇議員〕伐採増加見込みの立木数と単価増加理由は。〔観光課長〕8本、豪雨で路盤が悪くなり不整地運搬車を使用のため。

貨客混載

〔吉原議員〕貨客混載のエリア拡大は。〔企画課長〕徐々にエリア拡大している。

灯油購入費助成

〔西本議員〕コロナ禍で経済的に落ち込んでいるのに対象者が例年通りである。

〔福祉介護課長〕過去は生活保護世帯のみだったが、枠を拡充し住民税非課税世帯までとなった。

子育て世帯臨時交付金

〔大森議員〕申告漏れは起こらないのか。

所得制限には矛盾した点があるが。

〔住民課長〕高校生がいる世帯には同居の保護者あてに通知をし、周知徹底する。

〔町長〕国でしっかり議論をされた結果だと考える。



メンテナンスの負担軽減を考えた車

一目でわかる審議結果

○賛否の分かれた議案

○は賛成、×は反対あるいは保留

12月定例会																	
議案	議員名	小谷英介	西本憲人	豊哲也	島田一恵	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	大原広巳	大杖正彦	大森正治	杉谷洋一	近藤大介	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	結果
令和3年度大山町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決 (賛成14人)
沖縄県戦没者の遺骨を含む土砂を埋め立てに使用しないことを国に要請することを求める請願		○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	採択 (賛成11人)
少子化対策として子育てと教育の経済的負担軽減を求める要望書		○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	採択 (賛成9人)

◇全会一致で議決した議案

- 10月臨時議会 工事請負契約(1件)、財産所得(1件)、補正予算(1件)、その他(1件)
- 11月臨時議会 補正予算(1件)
- 12月定例会 工事請負契約(2件)、財産処分(2件)、補正予算(11件)、指定管理(3件)、条例(5件)、陳情(2件)、発議(2件)、その他(4件)

議案の議決は、米本隆記議長を除く15人で行います。

詳細は大山町議会ホームページをご参照ください。
<https://www.daisen.jp/gikai/4/1/>



討論会

地域社会をどう守るか

～人口減少の要因とその対策～

本町議会では、まちの進むべき方向や課題などのテーマで、議員討論会を開催しています。

12月定例会では、「地域を守るためには」をテーマに開催しました。少子高齢化が進むなか、人口減少対策は喫緊の課題ではないでしょうか。

将来にわたり持続可能なまちのために全議員で熱い討論を繰り広げました。



↑動画はこちらから



【杉谷議員】



農業水路や森林、道路の維持管理が限界に達している。また、空き家も増えてきており、放つては置けない。公共交通の利便性の低下など、生活における問題が多くある。集落の伝統行事や祭りなどの継承が大切だ。

【森本議員】



集落の課題は、総じて

人口減少にあるのではないかと。働く場の減少や、担い手不足の課題は大きい。私たち責任世代がしっかりと担い、次世代へバトンをわたすことが重要だ。

【池田議員】



人と人との関係が大切だ。老人クラブや地域自主組織など、集る場は多くある。周辺集落をつなぎ、地域の困りごとの解決や、地域の良さをみんなを感じていくことが大切だ。

【豊議員】



人口減少により、実際に何が維持できなくなっているのか考える必要がある。中山間地域においては、農地や水路の維持が課題である。伝統的な祭りなどの維持も大切であり、具体的な対策が重要だ。

【西本議員】



集落の始まりを考えると、集まって生活をしなければならぬ必要性があった。今では、インターネットを利用し、好きなものが好きな時に手に入る。新しい時代にバイジョンアップしなければならぬ。

【大杖議員】



あらゆる分野の担い手不足が生じ、生活形態が維持できなくなり、衰退へつなげているのではないかと。人が少ないことは悪いことではない。本町はバランスよく発展できる可能性がある。

【島田議員】



集落維持を支えるのは人であり、子どもが多ければ活気もでてくる。子育て世代が活躍できる

場や、雇用の創出、集落のなかでのコミュニケーションによって、課題を解決していくことが重要だ。

【近藤議員】



農村で生活する、あるいは、農業に従事しない人が農村で生活していくという意味が薄らいでいる。農村での生活に憧れるような、新たなブランドデザインが必要だ。

【門脇議員】



社会の変化に対し、集落が持つ共同体としての機能を穏やかに対応させていく必要がある。さまざまな自助努力に対して、公的な支援が重要になってくる。

【小谷議員】



若い世代も、集まって住むこと自体が嫌なわけ

ではない。集落の良いところを残しながら、若い世代も住める今後の集落のあり方を考える時期に来ている。

【大原議員】



昔は、農村集落での決め事は、農家が主導していた。今は、非農家の意見も尊重し、集落運営をしなければならぬ。若い世代や女性の活躍の場を増やしていかなければならぬ。

【岡田議員】



非農家が増えて、集落への愛着がなくなってきたとしても、集落の存続価値はある。最大の課題は、働く世代の流出と、少子高齢化の進展だ。草刈りや水路維持などの共同作業や伝統行事を守り、賑わいを取り戻さなければならぬ。



【大森議員】

これから団塊の世代が後期高齢者となっていく。これは大きな課題ではないか。日常の生活をどう守っていくか、また、将来の進路相談などができる親子関係も重要だ。



【吉原議員】

人口減少に伴う、世帯の減少と高齢化が問題である。伝統文化の継承が薄れていっている。世代交代がうまくいくように、地域の良さを見直す必要はない。



【野口議員】

若い世代は、個人主義が増え、伝統行事や農業など、少人数しか参加がないのが現状である。今のままでは、集落は維持できなくなる。

第2部 具体施策は

【野口議員】

人々が希望することが一つでも多く叶えられるまちづくりをしていきたい。それが集落を守る員体施策の一つになるのではないか。個人の意見を尊重するまちづくりが重要だ。

【大村議員】

集落が健全で活発に存続するために、2つのことを考えた。1つ目は、地元に着着を持ち、生きがいを持って明るく暮らせること。2つ目は、集落が有する自然や伝統文化を生かした暮らしを楽しむことだ。

【杉谷議員】

今現在住んでいる人と

の絆を深め、思いやりを持って生活することが、集落維持だと考える。地域教育を大切にして、子どもたちが住み続けられる地域や集落づくりをしていきたい。

【森本議員】

二ノノーマルの時代に対応する柔軟性が問われる。自主組織がより行政と連携して、日常生活の支援機能の確保と課題解決型のコミュニケーションの形成が喫緊の課題ではないか。

【小谷議員】

集落内にある農業に適した空き家を町が整備したうえで、農業研修制度とセットにして、集落が主体的に、農業をやりたい若者呼び込むことを検討すべきだ。

【門脇議員】

空き家活用において、協定を組むなどした集落や自主組織に対し、新たな補助金制度など検討できないか。住環境の適正管理が行われれば魅力も増える。

【岡田議員】

空き家を利用して幅広い世代が集まりコミュニケーションが取れる施設をつくり、交流関係を広

げていけないか。お互いが助け合える集落、地域づくりが大切だ。

【池田議員】

町の施策で良いものもある。たとえば、家庭保育支援だ。子どもを家庭で育て、地域で見守ることもつながりだ。地域の人の顔が見えるというのが一番大切だ。

【大森議員】

集落を維持するため、3つの視点がある。1つ目は高齢者も安心して暮らせるよう顔を見せ合い話す場、2つ目は営農組織を守っていくこと、3つ目は家庭でもウターンを促すような、家族の話し合いが大切ではないか。

【吉原議員】

子どもの部活、通学などに対応するための公共交通の改善が必要ではないか。また、地域自主組織がみなさんにとってなくてはならないものになることが大切だ。

【島田議員】

農業、水産業に関連する商品開発や販路拡大に新たな感覚で取り組むことにより、本町の魅力となり、雇用が生まれると考える。移動サービス

など、支え合うコミュニケーションづくりは大切だ。

【西本議員】

意識が3つに分かれると思う。1つ目は昔ながらの集落を維持したい人、2つ目は集落は必要ない人、3つ目その間のバランスをとる人だ。集落は簡単には無くならない。変化に対応できる事が重要だ。

【豊議員】

移住したいと思われる自治体か、そうでない自治体か二極化が起こるのではないか。農業の担い手確保や祭りなどの行事も文化財保護の観点から重要だ。

【近藤議員】

全国的には農村集落の維持は困難だと思つが、本町は事情が違つのではないか。農地を守っていくことによって、観光や食の連携で、地域が守られていくのではないか。農村、漁村のビジョン作成が必要だ。

【大原議員】

集落の大切さを若い世代に伝えていくことは重要だ。正月や盆など、地元に戻ってきた若い世代との交流を持ち、気持ち

を伝え、協力することは大切だ。

討論会を終えて

【米本議長】



議員みなさんが言うように、これをやれば人

口減少が止まるというものはないのかもしれない。しかし、この流れを緩やかにする事が、議員としての務めだと思えます。また、町民のみならずとも考えていかなければならない課題ではないでしょうか。どうか町民のみならず、議会と一緒に頑張ってまちづくりを続けていきましょう。



次世代に残したい伝統的な祭り

特集座談会

大山町議会だより
どう思う？

議会だより紙面の内容から、議員の活動にいたるまで、さまざまな年代の町民5人から率直なご意見を伺いました。



町民目線の紙面づくり

《議員》 大山町の議会だよりは、8人の議員と事務局が、写真撮影・記事執筆・編集・校正など、大部分を手分けをして自分たちで作っています。町民目線では議会だよりの紙面はどのように映りますか。

《入江さん》 むずかしい用語が多く、忙しいなか、わざわざ手に取って読みたいと思いません。一方通行の書き方ではなく、興味が湧くような問いかけがあったらいいのに。

《高塚さん》 たしかに、会議の報告資料みたいですよ。会議の資料をわざわざ家で読みたいありません。例えば、「国民健康保険が危ない！」とか、町民が興味のあるトピックの投げかけがあると身近に感じやすいです。

《小村さん》 議員や町職員と違って、一般の町民は、「決算に注目」と言われても、どこの数字に注目したらよいかわかりません。それぞれ

の数字の持つ意味などをもっとわかりやすくしてほしいです。

《中村さん》 とにかく、数字や専門用語が多くて、なかなか自分ごととして感じにくいので、もっと町民が身近に感じるように、工夫してほしいです。

幅広い年代に
読んでもらうには

《議員》 中学生から年配の人まで幅広い年代が身近に感じられる紙面にしていきたいです。ほかに、どのようなところを改善したらよいでしょうか。

《入江さん》 友人知人が紙面に載っていたら、もっと興味を持つと思います。それと、議員の一般質問のページは、議員ごとではなくて、子育て関係など、テーマとになっていくと読みやすいです。

《細谷さん》 一般質問のページをもっと少なくまとめて、議員の人の柄がわかる記事とか、議員と町民が距離を近づける紙面を増やして

座談会参加者



高塚 賢治 さん (60代)

8年前に定年退職して、普段は野菜を作ったり、まちづくりに関わったりしています。



入江 綾香 さん (30代)

3児の母です。子育てに多忙で、議会だよりを読む時間はほとんどありません。



細谷 真宏 さん (30代)

2歳になる双子の父です。仕事は農業で主に水稻です。生まれも育ちも大山町です。



中村 加奈子 さん (50代)

19年前に結婚して大阪から移住しました。夫の漁業仕事の手伝いをしています。



小村 満 さん (70代)

妻と2人暮らしをしています。蕎麦打ちが趣味であり、仕事です。

議員に期待する点

も良いと思います。

《小村さん》私は、議員個人のことよりも、議会全体として町政に対してどう働きかけたいのか、議会の意志をもっと伝えてほしいです。

《中村さん》議会の審議結果について「一目でわかる」と書いてあるのに、全然わかりません。例えば「財産取得の議案」と言われても、何のことか…。議会ではどんなことが審議されているのかももっとわかるようにしてほしいです。

《議員》そのほか、議員活動全般について、議会だよりを読んで感じられたことがありますら、ご意見をお願いします。

《細谷さん》長期的な目線で、大山町が持続可能な町になっていくように必要なことを議論して欲しいです。

《高塚さん》息子は大学を出てその

まま就職して、故郷に帰ってくるということにはならなかった。町の担い手をどのように確保するかを考えないといけません。議員には、広報紙の作成よりも、町民の声をひとつずつ拾っていくとか、もっと議員本来の仕事に時間を使って欲しいです。

《小村さん》同じような意見です。大山町は今なにか問題なのか、どうあるべきかを、議員は町民の声を聴きながら、考えてほしいです。

《入江さん》私の家庭も、上の子が11才で、あと数年で進路のことを考えないといけません。子どもが町外にでたら将来帰ってくるのかわかりません。大山町にはこんな楽しいことがあるんだよと、子どもたちに伝える機会がもっと必要だと思えます。議員にも、学校に出向いて町のことを話すなどしてほしいです。

《議員》さまざまなお意見ありがとうございます。頂いた意見を大切にして、町民の皆さんの声を聴きながら、議論をしていきます。

あなたの声が町を動かす

議員と語る会

集落単位だと
参加しやすく
いいね

これからも
続けて欲しい
です



行政に寄せられた要望と回答

- | | |
|--|--|
| 要望 | 町長 |
| デマンドバスの利用料金を安価にするなどの改善はできないか。 | 変更は考えていないが割引や回数券の制度はある。 |
| ペットボトルキャップの回収方法がわかりにくいので大山チャンネルで周知してほしい。 | キャップの回収は不燃ゴミで処理している。大山チャンネルなどで周知する。 |
| 大雨で土砂災害がおこる水路の改修をしてほしい。 | 県・町・地元で協議する。地元負担は必要な場合がある。 |
| 空き家対策として専門性の高い窓口や専門職員の育成が必要ではないか。 | 今後、有資格職員の配置などを検討する。 |
| 高齢者のために各集落に検診車をまわせないか。血液検査に癌数値も加えてほしい。 | 集落までは難しい、デマンドバスの乗車券を渡ししている。血液検査は補完的な検査になるため、従来の癌検診で対応する。 |

今年度は2年ぶりの議員と語る会を、10月15日から11月14日までの期間に5カ所の集落に出向いて行いました。
各集落での身近な町民同士で、自由討論を交え活発な意見交換ができました。

参加者35人(前回24人)

中山地区	7人	(前回 7人)
名和地区	15人	(前回 6人)
大山地区	13人	(前回 11人)

アンケート調査

語る会の評価は？

どちらかと言えば悪い 0%

悪い 0%

普通 4%

どちらかと言えばよい 36%

よい 60%

議会からのお知らせ

政策提言をしました

大山町議会は、決算審査の際に常任委員会ごとに課題を調査し、議会独自の事務事業評価を行っています。評価結果にもとづく改善点を、執行部に政策提言しています。詳しくは議会ホームページをご確認ください。

令和3年度提言の主な内容



大山チャンネル

…視聴状況の調査や、町民の声を反映する番組作りを。

大山恵みの里公社への補助金

…公益事業と収益事業のすみ分けを見直すこと。

ファミリーサポートセンター

…利用料の低減を検討すべき。

成人式

…成人としての自覚を促すよう、式典の構成を検討すべき。

大山町観光協会補助金

…3支部と観光局の位置付けを確認し、組織改正を求める。

就農条件整備

…農業後継者を育成する取り組みの強化をはかるべき。

QRコードでより議会が身近に

今号から議会だより一般質問のページにQRコードを貼り付けました。お持ちのスマホやタブレットから読み込むことで、各議員の質問内容をYouTubeの動画でご視聴いただけるようになりました。

誌面では掲載しきれない議会での議論をぜひインターネット上でご確認ください。

お詫び

議会だより66号にて「御来屋遊園地」の名称について記載間違いがありました。関係者の皆様にご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。

みんなのひろば ～あったらいいな～



かとう ゆい
加藤 (大山小)

ふ	多
れ	世
合	代
い	
パ	
ー	
ク	

ぼくは、多世代ふれ合いパークがあったらいいと思います。これは、その名の通り、さまざまな世代の方とふれ合う場所のことです。

ここは、公園のように子どもたちが遊具で遊んだり、花だんの花を見ながらお年寄りがお話や散歩をしたりします。また、季節を生かしたい

ベント、冬なら雪の像づくりや雪合戦、夏なら昆虫採集大会などを行うと、地域の人たちとふれ合いが持てると思います。

この多世代ふれ合いパークがあることで、多くの人たちと協力したり、初めての人も楽しく関わったりできるようなりますはずです。



みはら さわ
三原 (大山西小)

マ	
カ	ン
フ	ガ
エ	

私は、大山町に「マンガカフェ」があったらいいと思います。その理由は、自分の好きなマンガを図書館みたいに借りることができたら良いと思ったからです。

マンガカフェを作ると、三つの良いことがあると考えました。一つ目は、カフェに人が集まることで憩いの場になり、町が明るく

なるという点です。二つ目は、要らなくなったマンガを集めて再利用につなげられるという点です。三つ目は、カフェで大山町の特産品を使った飲食物を提供すると、地産地消になるという点です。

私は、マンガカフェによって大山町がもっと楽しく明るい町になれば良いと思います。



きむら すずか
木村 (中山小)

あ	プ
っ	ラ
た	ネ
ら	タ
い	リ
い	ウ
な	ム
	が

私は、大山町に「プラネタリウム」があったらいいな、と思います。その理由は、二つあります。

一つ目は、大山町は星がきれいに見えるからです。鳥取県は「星取県」と言われているくらい、きれいな星空を見ることが出来ます。私は羽田井に住んでいます。山の方なので夜になると星が数えきれないほ

ど、きらきらと輝いているのが見えます。二つ目は、実際にプラネタリウムに行ったことがあるからです。「さじアストロパーク」に行つて、望遠鏡で実際にある星を見たときは、涙があふれ出るくらい感動しました。

きれいな星空をたくさんの人に見てもらいたいです。



こばやし さら
小林 (名和小)

ツ	い
が	ろ
で	い
き	ろ
る	な
体	ス
育	ポ
館	ー

私が大山町にあったらいいなと思うのは、いろいろなスポーツができる体育館です。

その理由は二つあります。一つ目は、体育館はあるけれど、限られたスポーツしかできないからです。そして東京オリンピックがあつて、たくさんの方がたくさんの方に影響されていると思うからです。

二つ目は、力のある選手の実力を伸ばした方がその人の将来の幅が広がっていくと思うからです。優秀な選手でも練習ができなければ、成長することができないからです。

この二つの理由から私はいろいろなスポーツができる体育館がいいと思います。

海に見える大山のゲレンデ

あとがき

12月定例会は全ての議案が可決、承認、採択されました。

町民のみなさんからも注目度の高い議案もあったのではないのでしょうか。

さて、今期の冬は日本海側を中心に雪が多くなる予想がされています。

スキー場にとっては恵みの雪となることを願うばかりです。

また、昨今はオミクロン株の流行も県内で猛威を振るっています。自己の感染対策と身近な人を思いやる支えあいが必要です。

コロナを経験し、社会の在り方も変化をしました。さまざまな社会の新常态、ニューノーマルに対応した柔軟性ある町政発展のため、汗を流したいと思いません。

森本

【発行責任者】

議長 米本 隆記

【広報常任委員会】

委員長 池田 幸恵

副委員長 西本 憲人

委員 大原 広巳

委員 近藤 大介

委員 森本 貴之

委員 島田 一恵

委員 豊田 哲也

委員 小谷 英介